（第三種郵便物認可 大正八年三月七日）　昭和十一年九月三日　THE IWAKIJIHO　（木曜日）　（第六千七百廿六號）　（一）

夕刊
磐城時報

廿九日

福島縣石城郡平町鎌田字町四
編輯兼發行人　岡田弘成
福島縣石城郡平町鎌田字町十四
印刷所　加納活版所
福島縣石城郡平町鎌田字町十四
發行所　磐城時報社
廣告料一行十二字詰五十錢
一部金貳錢　一ヶ月金卅錢
日刊（日曜祝祭日）翌日休刊

防空宣傳も加味した 鎌田の流燈會

各種團体の應援で 大々的に擧行

鎌田青年團では例年舊盆二十日夜夏井川鎌田橋附近で燈籠流しを催ほし平町の名物となつてゐたが、本年は經費の關係上廢止する方針であつた處平商工會、青年團、消防組等の後援で大々的に行ふ事になつた。當夜は防空思想宣傳の意味でそれを織り込んだ仕掛花火を打上げる外尺玉、八寸玉等百數十發の花火を打上げるので數萬の人出を豫想され鎌田橋が腐橋して危險なため本年は飯野村大字北白土八幡神社裏で行ふ事になつた。

湯本温泉復活工事 正式に認可さる

直ちに工事續行

湯本町温泉復活の斜坑開鑿工事は縣から工事の中止を命ぜられてゐたが去月二十九日付で許可されたので町當局では直ちに工事の進行を計る事になつたが、最近入山炭礦から吹き出す温泉が効果顯著で入湯者が增加しつゝある際なので町民は工事が早く竣工する事を希望してゐる。

▲植田防空團　植田町では一日防護團結成式を擧げ左の役員を決定した。團長古川傳一、副團長渡邊國之助、幹事鈴木彌一郎、會計松村義節

遠洋漁船

續々歸港

去る六月初旬以來遠く北洋カムチャツカ沖に出漁し他縣船を壓して大漁を見てゐた石城各濱の遠洋漁船四十余隻は過般來續々歸港してゐるが何れも豐漁で殊に江名町萬勢丸、中の作第二東丸、安榮丸の如き何れも漁獲高三萬圓を突破し、その他各船も平均一萬二千圓程度の漁獲があつて郡下の北洋漁業は年と共に有望視されるに至つた。

小田吉治氏が 銅脈を發見

好間村小田吉治氏は双葉郡新山町大字石熊地内國有林中に十萬坪の黄銅礦脈を發見仙臺鑛山監督局に試堀方を願ひ出てた。

米價下る

ものふ共販結果

石城販賣利用組合の俵米定期共同販賣は一日行はれたが出荷千七百八十七俵で商人側は先行き樂觀で前回に比し一俵平均十五錢安。尚ほ平一號外十七口は不調であつた。

平二號一二、五四錢、同四號一二、七一、五號一二、七五、六號一二、七六、七號一二、七八、十三號一二、六〇、飯野一二、七四、高久一二、七八、草野信用一二、〇二大野四號一二、七六、同五號一二、七七

磐城共濟病院 近く開院

縣衛生課綠川警部補は二日來平衆で認可申請中だつた平町磐城共濟病院の内容を調査したが近く開院許可の筈である、

發狂の美人に

鮮人數名が暴行

白河町から誘ひ來る

舊盆十六日夜十一時頃人出で雜踏を極めてゐる平驛待合室で狂人風の上品な婦人があるのを平驛前派出所鈴木部長が發見取調べた處西白河郡白河町カフェー白陽の經營者丸山藤十郎氏の愛妾邀見チヨ（二六）といふ精神病者と判明、同女は去月三十一日夜白河驛前を徘徊してゐるうち見知らぬ男に誘はれて内郷村附近に來り朝鮮人數名に弄ばれた揚句突き離され途方に暮れてゐたものと判明、二日家人を呼び出して引渡した。

▲小名大敷網　過般縣水産課から姙娠した處藏造並に家人の義祖母東白川郡宮本村生れ岡谷マサヨ（四二）に話した處昔から風評になつてゐる方法を用ひ墮胎が出來るときゝ藏造と共謀の上美津の無智に付け込んで墮胎を教唆して遂に昨年三月目的を果し胎兒は同家裏の河中に投じ闇から闇へ葬つてゐたが、美津はそれ以來家人の白眼視に耐へられず同家を逃走實家に歸り同市の製糸女工として働いてゐたが極度の不安に襲はれて煩悶の末同市の教會で信仰の生活に入り牧師に導かれて自首したもので、米澤署では前記三名を取調べ一件書類と共に三十一日平檢事局へ送致されたものである。

本年は豐作

二百十日當日狀況を 神谷試驗場で調査

神谷農事試驗分場調査による二百十日當日の石城地方の稻作狀況は七月下旬の氣溫は平年より遙かに優れて平年に比し三度高く且つ降雨量適當なりしため草丈に於て早生、中生、晩生平均に於て草丈三尺九寸二分で早生、中生晩生共に非常な發育ぶりを示し大暑當日の調査では平年より稍劣つてゐたが、昨一日の調査では平年より遙かに優れて早生、中生、晩生平均莖數十四である。

舊盆の人出

平驛の調べ

舊盆十五日、十六日兩日の平驛乘降客は十五日一〇、九六七名で收入一、五七二圓、十六日七、五五六名、收入一、二〇六圓で十六日の人出は平日の四割の增加であつた、

念佛踊で 得た金を寄附

平窪村上平若衆連は三十一日夜平町でチャンガラ念佛踊りで得た謝禮金五圓三十錢を國防費に献金して下さいと一日午後平署へ傳達方を依頼した。

盆踊見物に來て 六十圓を掏り取らる

一日午後二時半頃平町の盆踊見物に來た山形縣伊佐須驛員佐藤直次郎（四六）は平驛前で犬道香具師の商賣見物中洋服の尻のポケットに入れておいた現金六十圓入りの財布を掏り取られ平署に届け出でた。

▲防空打合せ　小名濱町では三日午前八時半から小學校で防空演習に關する打合せをなす。

平署管内 自動車檢査

平署では左記日割で管内の自動車体檢査を行ふ。

小名濱九月十三日、玉川十四日、鹿島十五日、江名十六日、湯本十七日、磐崎十八日、高久二十日、豐間二十二日、三阪澤渡二十五日、二十六日永戸、貸輪二十八日、好間二十九日、上下小川十月一日、赤井二日、平窪三日、飯野五日、神谷六日、內郷七、八日、平町九、十二、十三日、夏井十四日。

江名海産 加工組合生る

江名町海産物加工業者二十一名は此程燒竹輪工業組合を組織し十六日設立準備總會を開き定款、事業計劃を決定、役員を選擧し商工省に認可を申請した。出資額は一口三十圓、二百五十口總額七千五百圓、第一回拂込み四分の一である。

墮胎少女 不起訴となる

うら若い女性が年期奉公中妻子ある主家の伜と關係し不義の子を宿した揚句始末に窮して墮胎し何喰はぬ顔でゐたが。その後仰信生活に入つて始めて過去の罪の苛責から自首して出た無智な男女にからまる事件がこの程米澤署から平檢事局に移送され氏家檢事の取調を受けてゐる

石城郡三坂村大字下三坂字前澤農阿部忠雄方米澤市角東町長藏二女青柳美津（二〇）は十四歳の時から前記忠雄方に前借二百圓で女中奉公中同家の長男で妻子のある藏造（三五）と去る九年八月頃から家人の眼を忍んで關係を續けてゐる中同年十一月頃姙娠した處藏造並に家人の義祖母東白川郡宮本村生れ岡谷マサヨ（四二）に話した處昔から風評になつてゐる方法を用ひ墮胎が出來るときゝ藏造と共謀の上美津の無智に付け込んで墮胎を教唆して遂に昨年三月目的を果し胎兒は同家裏の河中に投じ闇から闇へ葬つてゐたが、美津はそれ以來家人の白眼視に耐へられず同月同家を逃走實家に歸り同市の製糸女工として働いてゐたが極度の不安に襲はれて煩悶の末同市の教會で信仰の生活に入り牧師に導かれて自首したもので、米澤署では前記三名を取調べ一件書類と共に三十一日平檢事局へ送致されたものである。

▲小川橋竣工　小川村地内夏井川の小川橋竣工式は二日午前十時から擧行された、工費一萬六千圓、鐵筋コンクリートである。

特許
づゝう知らず『石の枕』
（一名頭腦保健器）
○古諺に曰く「頭寒足熱」と
○づゝう知らず『石の枕』の特徴は實に其頭寒を全ふし神經系中樞腦の保護器として研究製造したものであります
○安眠して腦神經の疲勞を癒し新陳代謝を欲する方
○健全なる頭腦を宿し常に爽快なる精神保持に力め給ふ方
○不幸にして腦系統の病魔に襲はれた諸彦へ此理學的療器「石の枕」の常用を御薦め致します
○石の枕によりて愉快に働らき能率の增進を計り充分の勉强を達成し得らるゝことを確信致します
其他左に効力實驗例を記載致します
○頭痛　○頭重　○倦怠　○發熱　○不眠症
○中風　○宿醉　○神經衰弱症
○腦溢血及び腦充血等の豫防
◇定價三圓五十錢、子供用二圓五十錢◇
特約店　正　中野洋品店
平町二丁目
電話五十三番

傳染病豫防に備へん
傳染病は口(蠅)から皮膚(蚊)から
高級殺蟲液
ナワマイト
名和混蟲研究所創製
蚊、蠅、蚤、蟻、油蟲、南京蟲
家ダニ等あらゆる害蟲の撲滅
に完全即死強力ナワマイトを！
完全即死。價格低廉。
使用簡便。人畜無害。
本品は名和研究所の創製にてあらゆる害蟲に撒霧すれば即死又は數分時にして完全に死滅する効力偉大なること絶對確信ある一般家庭殺蟲液です
ナワマイト　王星石鹸　フリーゲン
販賣店募集
委細御申越下さい
濱三郡賣捌元
菅本飼料店
平町一丁目　電話五九六番

平驛前
昭和タクシー
電話三四三番

吸入用酸素
純度99%
度量衡
モノサシ　ハカリ　マス
計器
体温器　寒暖計
◉秤ノ取緒・錘糸・修覆致シマス
◉寫眞機材料一式
關内藥局
電話四〇番

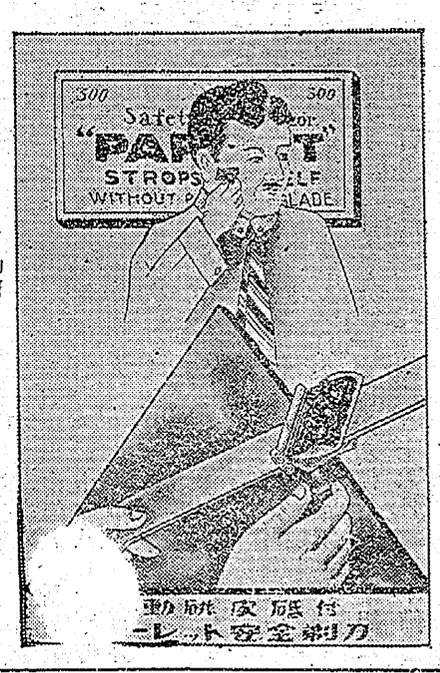
御旅行に
素晴しい乘心地の！
三五年式流線型新車を！！
是非御利用御用命の程を御願申します
平二
三井タクシー
電話六五八番

醤油と味噌
鹽屋
福島縣平町
電話（營業部専用一〇番　一般用二七番）
振替口座　東京一九七五五番
明治生命　磐城代理店　山崎與三郎

耳鼻咽喉科專門
鈴木醫院
醫學士　鈴木正男
入院のお需に應ず（自炊の便あり）
平町田町藤田女學校前（電話五八番）

平町田町（電話五一三番）
高久病院
醫學士　高久忠
新潟醫學士　赤羽清
藥劑士　佐竹菊雄
内科小兒科
耳鼻咽喉科　外科花柳病科　レントゲン科

化粧品、理髮器具
クリーム、ポマード、ハカリ賣り
安全剃刀（自動研皮砥付）　白衣と鏡（大小各種）
芳香園理髮器具店
平驛前（電話六八〇番）



魚沼すから
ヒノマル凍魚
おいしい
配達八尾一箱
日出速達致マス
卸小賣　平製氷會社
平代理店　印魚岡屋
四丁目五二八番
日本水産三等特約（電三八・三一六番）
エ　鯛　白　ビ
ワカサギ　魚　甘　鯛
甲　カイ　鯉　鯛
北寄貝　帆立貝　目抜切身　うに貝燒
◎新鮮な冷凍貝やき……十三錢

産婦人科
外科
藥局
院長　木村寅次郎
醫學博士　内木宗八
藥劑師　大岩俊雄
入院隨意　病室完備
平町新川町十九
木村病院
電話一六四番

外科一般
内臓外科　レントゲン科
北川外科
平町新川町（諸橋醫院跡）
（血液檢査毎日）
イツデモ入院出來マス
醫學博士　北川芳夫
小林良次
電話四六四番

夏は……
レンコート
夏のオーバ
夏のセビロ
ゼヒ御用命を！
平町四　正札堂洋服店　電話四三番

耳鼻咽喉科
大和田醫院
平町南町（電話一七〇番）
入院自炊の便あり

石炭
コークス
豆炭
平驛前
阿部石炭店
電話三七番